

令和2年 5月 7日

鹿児島県内各中学校  
技術・家庭科担当者 殿

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会  
会長 南 信 一

### 新型コロナウイルス感染症対策のための技術・家庭科の授業の進め方について

新緑の候、先生方におかれましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業中にもかかわらず、休業明けの授業の準備等進められていることと拝察いたします。

その中で、「新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校 及び特別支援学校等における教育活動の再開等に関するQ & A」を受けて、「技術・家庭科の授業をどのように進めればよいのか」いくつか問い合わせを受けました。

そこで、前述Q & Aを受けた上で、本研究会なりに考えた技術・家庭科の授業の進め方について下記のとおりまとめましたので、学校再開後の参考にしていただければ幸いです。

実施にあたっては、学校の実情（地区内の発生状況や学校規模の違い等）に応じて、どのように対策を進めるのか。各学校で協議の上、全校的な態勢のもとで進めていただくようお願いいたします。

### 記

1 「新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校 及び特別支援学校等における教育活動の再開等に関するQ & A」での配慮事項

※ 授業に関する関係部分を抜粋

#### I 学校再開について

【保健管理等に関すること】

問8 換気は、具体的にどのようにすればよいのか（頻度等について）。

- 休み時間毎に2方向のそれぞれ1つ以上の窓（対角線上の窓を開けると換気がスムーズに行われます）を広く開けて換気を行うようにします。
- また、換気の程度は天気や教室の位置によって異なり、授業中も2方向のそれぞれ1つ以上の窓を開けておくことが望ましいと考えます。授業中は必ずしも窓を広く開ける必要はありませんが、換気の程度は天気や教室の位置によって異なるため、必要に応じて学校薬剤師と相談してください。
- なお、換気をすれば十分な感染予防ができるということではないため、あわせて、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底にご留意ください。

問11 消毒は、具体的にどのような範囲で行えばよいか。

- 教室やトイレなど、児童生徒等が利用する場所のうち、特に多くの児童生徒等が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日1回以上消毒液を使用して清掃を行います。
- 消毒液については、消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムを例示していましたが、学校における施設の消毒にあたっては、次亜塩素酸ナトリウムを積極的に利用いただきたいと考えており、御協力いただけますよう、よろしく願いいたします。

**問12 学校内で共用される用具や備品についてはどのようにしたらよいか。**

- 感染の要因の一つに、物品の共用による接触感染があります。学校では様々なものを共用しており、用具や物品の共用を避けることができれば避けるようにしますが、共用を避けるのが難しいものについては、使用後手洗いをするように指導することなどが考えられます。

**問13 どのような場面でマスクをすればよいか。**

- 基本的な考え方として、児童生徒等の間に飛沫のかからないような十分な距離（多くの児童生徒等が手の届く距離に集まらない状態）があり、かつ、換気を適切に行っている室内や屋外である場合には、マスクの着用は必ずしも必要ではありません。

（教室での授業）

教室において、児童生徒等の間に十分な座席の距離が取りにくく、近距離での会話や発声が必要な場合には、適切に換気を実施した上で、マスクを着用することが望ましいと考えられます。ただし、例えば、少人数の学級であるなど、ある程度座席を離して配置することができる場合は、マスクの着用は必ずしも必要ではありません。

**【学習指導に関すること】**

**問33 令和2年度から全面実施される新小学校学習指導要領においては、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が重視されているが、感染拡大防止のための配慮を行いながらそれを進めていくにはどうすればよいか。【更新】**

- 学校再開後の各教科等の指導に当たっては、まずは教室等のこまめな換気の徹底や、飛沫を飛ばさないよう、咳エチケットの要領でマスクを装着するよう指導するなど、令和2年3月24日の事務次官通知において示している感染症対策を講じていただいた上で、新学習指導要領において示している主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行っていただきたいと考えています。
- なお、それでもなお感染の可能性が高い一部の実技指導などにおいては、指導の順序の変更の工夫なども考えられます。

**問34 学校再開ガイドラインに示す感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い各教科等の一部の実技指導とその対応としてどのようなものがあるか。**

- 各教科等の指導においても、学校再開ガイドラインに示す感染症対策を講じることが重要ですが、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い活動とその対応としては、例えば・家庭科において、調理などの実習について、年間指導計画の中で指導の順序を変更することや、衛生管理をより一層徹底すること
- また、学校再開ガイドラインに示す感染症対策を講じた上で、各教科等に共通する感染症対策として、
  - ・共用の教材、教具、情報機器などを適切に消毒する
  - ・共用の教材、教具、情報機器などを触る前後で手洗い・除菌行為を徹底するなどの取組が考えられます。

**問35 職業教科における実習等の指導においては、どのようなことに留意する必要があるか。**

- 学校内での実習や産業現場等学校外での実習を実施する際には、学校再開ガイドラインに示す感染症対策を講じた上で、共通する感染症対策として、
  - ・共用の教材、教具、機器や設備などを適切に消毒する

・共用の教材，教具，機器や設備などを触る前後で手洗い・除菌行為を徹底するなどの取組が考えられます。

**問36 学校再開ガイドラインに示す感染症対策を講じた上で，自立活動の指導を行う場合に留意することは何か。**

○ 指導内容によっては，近距離での会話や発声等の際のマスクの使用等の対応が取れない場合又は教師と児童生徒の接触や児童生徒同士の接触が不可避な場合等があることから，指導計画や指導方法の見直し等を行うとともに，やむを得ない場合は一層の感染症対策を講じた上で指導を行う，等の柔軟な対応を図ることが考えられます。

**2 Q & Aを受けた技術・家庭科の授業の進め方**

**(1) 技術・家庭科共通**

**Q 1 実習室の座席配置がグループでの活動が前提になっているが，授業は実習室で実施して良いか。**

○ 問8，問13，問33より，一番感染する危険性が少ないのは，普通教室で2つ以上の窓を開けて換気を行った上で，手洗い，咳エチケットを行った上で授業を受けるのが望ましいと考えます。

そこで，グループ活動や実験・実習を伴わない学習の場合は，普通教室での授業を受けることが考えられます。

「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」と同様に，グループ活動や実験・実習を伴った学習を行う場合は，喚起を十分に行い，咳エチケットの要領で必ずマスクを着用するよう指導して，実習室で授業を行ってください。

○ なお，それでもなお感染の可能性が高い一部の実技指導などにおいては，指導の順序の変更の工夫なども考えられます。

**Q 2 教材，教具など生徒や教師が共有して使用するものは消毒が必要か。**

○ 問11，問12，問34，問35より，生徒がよく手に触れる特別教室のドアノブ，手すり，スイッチ等は，作業時間等を活用して，1日1回以上，消毒液を用いて消毒してください。また，生徒が直接手に触れる教材や教具は，感染防止のため使用する度に消毒するか，休み時間によく手洗いをさせて共有させてください。

○ 消毒液については，消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムを使いますが，消毒用エタノールが不足する場合は，次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤の希釈液）を用いた消毒液を使ってください。「3 次亜塩素酸ナトリウムについて」をよく読んでください。

**Q 3 共通して使う道具類は貸し借りをしてもよいか。**

○ 感染症予防の観点から，できるだけ道具類の貸し借りは避けてください。どうしても共通して使用する場合は，Q2と同様の考え方で進めてください。

**Q 4 「三密」を避けることと，対話的な学びとの関連をどのように考えれば良いか。**

○ Q1を参考に進めてください。

- Q 5 PC室や調理室はエアコンを使わず、窓を開けて換気をするようになるのか。
- 問8より、教室の換気の割合は、窓の大きさやエアコンの性能、中にいる生徒の人数等で大きく変わります。手洗いや咳エチケットの対策をして、換気が十分に行えるのであれば、エアコンを使用してよいと思います。心配なときは、学校の薬剤師に相談してください。
- なお、PC室の窓を開ける際には、火山灰や砂ぼこり等にも注意してください。
- Q 6 外部講師などを招聘する授業を行っても良いか。
- 学校の実情（地域の感染の状況や講師の状況）により、感染をする可能性が低ければ、招聘することは可能だと考えます。授業を行うに当たっては、講師の健康状況について口頭で確認し、手洗い咳エチケット等の対応は行ってください。
- Q 7 県大会は計画通り実施の方向で準備を進めて良いか。
- 技術・家庭科は教科の特性上、学校に1人しか教諭がいなかったり、臨時免許や免許外で指導したりする 경우가、他教科より多い傾向にあります。そのため、授業を通じた研究をする機会が少ない状況があります。
- したがって、令和2年度「第69回鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会 肝属地区大会 11月17日（火）開催予定」は、可能な限り実施する方向で進めて参ります。
- Q 8 パソコンなどを使う場合、生徒が触る部分が多いが、消毒を実施するとハードウェアへの影響も危惧される。どちらを優先すべきか。
- PC本体やキーボード、マウス等は、消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒することを想定して製造されていません。
- 従って、キーボードカバーを使用したり、食品包装用ラップフィルム等を活用したりすることで、消毒液がキーボード等に直接触れない状況で、消毒することも考えられます。
- 授業で使用させる場合は、手洗いを十分行って使用させ、ハードウェアを消毒する際は、市販の除菌シート等で汚れを拭き取るようにしてください。
- Q 9 必修となっている幼稚園との触れ合い交流学习については、受け入れ先の状況によって計画を変更しても良いか。
- 問36より、近距離での会話や発声等が伴い、教師と幼児の接触や生徒と幼児の接触が不可避な場合等があることから、指導計画や指導方法の見直し等を行うことが望ましいと考えます。
- やむを得ない場合は、訪問先の了解を得るとともに、生徒の健康状況の確認等一層の感染症対策を講じた上で交流を行う等の柔軟な対応を図ることが考えられます。
- Q 10 調理実習は実施しても良いか。
- 問34より、家庭分野において、調理などの実習については、年間指導計画の中で指導の順序を変更し、感染症の流行が落ち着いてから実施することが望ましいと考えます。

### 3 次亜塩素酸ナトリウムについて

## 消毒用アルコールがない場合の消毒・除菌について

新型コロナウイルス感染症の予防には、石けん等による手洗いが有効です。また、ウイルスが付着したもののからの接触感染を防ぐため、手指が触れることの多いものに対しての除菌も重要です。アルコールによる除菌の他、入手しにくい場合は次亜塩素酸ナトリウムが有効です。

#### 1 手指がよく触れるもの（例）

- ・ドアノブ ・照明等のスイッチ ・テーブル ・椅子 ・電話機 ・水道の蛇口
- ・パソコンのキーボード及びマウス・コピー機等のボタン ・便器のフタ、洗水レバー など

#### 2 次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方

- ・一般的に「塩素系漂白剤」（塩素濃度約5%、または10~12%）として販売されています。
- ・製品の記載濃度をもとに、用途に応じ、薄めて使用してください。

用途	濃度	希釈方法（原液5%の場合）
嘔吐物が付着した床等の処理	0.1%	500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤10ml（ペットボトルのキャップ2杯）入れる。
ドアノブ、手すり、床等の消毒	0.05%	500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を5ml（ペットボトルのキャップ1杯）入れる。

※ ペットボトルには、消毒液であることをはっきりと表示してください。

#### 3 消毒の方法

- ・ペーパータオル等に十分に薬液を含ませて拭いた後、水拭きしてください。（拭く場所が濡れている場合には水分を拭き取った後に行ってください。）
- ※ 金属部分に使用する場合は、錆びたり変色することがあるため注意が必要です。使用後10分程度経ったら水拭きをしてください。
- ※ スプレーボトルでの薬液の噴霧は、ウイルス飛散の可能性があるため、好ましくありません。

#### 4 次亜塩素酸ナトリウムを使用する上での注意事項

商品に記載してある使用方法をよく確認し、特に次のことに注意して使用してください。

- ① 皮膚への刺激が強いため、直接触れないよう、必ずビニール等の手袋を使用してください。また手指消毒には使用しないでください。
- ② 消毒液が皮膚や衣服についた場合は、直ちに水で洗い流してください。
- ③ 使用するときは、換気を十分に行ってください。
- ④ 酸性の強い洗剤と混ぜると有毒ガスが発生しますので注意してください。
- ⑤ 使用後は、必ず水で洗い流すか拭き取ってください。
- ⑥ 次亜塩素酸ナトリウムは消毒・除菌には有効ですが、反面、腐食作用や漂白作用（変色や色落ち）があります。使用後はしっかりと水で洗い流すか水拭きをしてください。
- ⑦ 薄めた消毒液は時間が経つにつれて効果がなくなりますので、使うときに原液を希釈して必要な量だけ作り、作り置きをしないでください。
- ⑧ 塩素は日光によって分解され殺菌力が低下します。原液は直射日光の当たるところや、高温の場所には置かないでください。